

小林市議会「みんなで語ろう会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	永久津中学校区	担当班 2班	議員名	担当
参加人数	13名（男8名 女5名）		竹内 議員	司会進行
開催日	令和元年7月24日（水）		高野 議員	活動報告（総務文教）
開催時間	午後7時00分～8時30分			（経済産業）
会場	永久津中学校多目的室			（市民厚生）
その他				（広報広聴）
		押領司 議員	記録・報告書作成	

◎班代表者 高野 議員

意見交換会の内容		※ <input type="checkbox"/> 市民の意見 ■議員の意見
テーマ①	市民が利用しやすい地域公共交通のあり方について	
<p>【意見交換の概要】</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニティバスの利用について、目的地や経由地になりそうな場所を増やせば、もっと利用者が増えると思う。買い物のついでに立ち寄れる「茶飲ん場」のような場所を設けてみてはどうか。</p> <p>■空き家も増えてきており、そのような場所を利用した「茶飲ん場」のようなものが増えてくることはいいことだと思う。市民の交通手段の確保に向け、新しい判断材料になるのではないか。いろいろな方法を委員会でも討議し、地域の意見を伝えていく。</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニティバスを小学生の通学手段としての利用ができないか。</p> <p>■議会でも一般質問などで提案したが、時間帯の問題や運転手の確保などでなかなか厳しいということであった。</p> <p><input type="checkbox"/>高齢化社会になるとますます、バスの時代がやってくると思う。直接ダイレックスなどの商業施設へ行くルートなどができたら、そのまま買い物ができる。他県の商業施設では自宅まで送迎があり、買い物もできてデイサービスも受けられるような事業もできている。このようなことを踏まえ今後とも検討してほしい。</p> <p>■行政だけで地域公共交通をつくるのではなく、商業施設などの民間業者や病院を含めていろいろなところとうまく連携して模索していくことが必要だと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>企業など民間と協力した地域公共交通を検討できないか。</p> <p>■民間・行政が協力した地域公共交通のあり方を目指し、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。</p>		

テーマ②

小・中学校の現状と課題について

【意見交換の概要】

小林市の現状について:市内の児童生徒数は年々減っており、平成 23 年が 3,925 人、平成 26 年は 3,808 人、令和元年 3,498 人となっている。考えられる影響として、切磋琢磨する機会の減少、親による過干渉の増加、学校、地域における集団教育の不成立(部活動や学校行事)が想定される。

□よそから永久津に戻って来たくても宅地がない。

□若い人達が家建てたいが土地がなく、やむなくよそに移ってしまった。自分で土地の交渉をして、売買契約をしなければならぬため、教育振興会や組合などで仲介するところがあれば地元に残る人が増えるのではないか。

■児童生徒が増える可能性があるのに、家が建てられないというのは昔からの難しい問題である。どこかが先頭に立ってということだが、まちづくり協議会が設立されてないのは永久津中学校区と小林小学校区の2校区であり、いち早くまちづくり協議会を設立し、部会で話合っていくのが一番の近道だと思う。仲介を支援できる部会などでの対応を目指していくよう委員会でも討議し、地域の意見を伝えていく。

□現在、中心となっている教育振興会に対して、議員からもまちづくり協議会の早期設立を目指して行動を起こしてほしい。

■いち早く設立ができるよう議員も行動していく。

□なぜまちづくり協議会が設立できないのかと考えると、キーパーソンとなる方がいろいろな組織に所属しているためだと思うので、新たな人材の掘りおこしをするべきだと思う。

■にっこばまちづくり協議会では、昨年、体育振興会と西小林振興会を一本化した。まちづくり協議会の内容を周知するのに6年という時間がかかったが、楽しくみんなでまちづくりを考える場ができている。

□児童・生徒の登下校時に地区体育館に見慣れない車が停まっている。小林市 Free Wi-Fi を利用しているのではないかと思うが、張り紙等の注意喚起や、見回りなどの対策を行っていただけないか。

■(体育館の所管である)スポーツ振興課に対して張り紙等ができないかなど要請は行っていく。また駐在所の警察官にも見回りをしていただくようお願いをしたい。防犯上、夜間は Wi-Fi が切れるようになっている(災害時は切り替わる。)

自由意見の交換

□8月の第1日曜日に道路愛護デーを行っている。実施月は県の条例に則ってやっているが、市の単独事業として正月前に道路清掃を計画できないか。予算も伴わないので取り組んでもらうよう、議会の方からも要請をお願いしたい。

■市としては年1回計画している。そのほかの実施については、各地域においておこなうということを基本にすべきであると思うが、出された意見は委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

□大雨情報、避難情報の意味合いと伝え方を検討してほしい。

■来年度、防災行政無線を各家庭に貸し出すので、今後は更に詳しく伝えることが可能になる。

□4年前の防災訓練で要避難介助者の避難を援助できる体制を構築するとのことであったができていないのか。

■要支援者の避難連絡体制の現状と改善・支援策を当局に一般質問等で質問していく。

議会活動報告への意見